

みと かつた あかつか
水戸・勝田都市計画赤塚駅北口地区
第一種市街地再開発事業

受賞機関 水戸市

はじめに

水戸市は、東京から北東へ約100km、関東平野の北東端に位置する茨城県の県庁所在都市で、古くから城下町として栄え、地域の商業、業務、文化の中心として発展してきた。

赤塚地区は市中心部から西へ6～7kmに位置し、製粉業、木材加工など時代の産業に応え発展したことで、小規模店舗や住宅街が形成されてきたが都市基盤の整備は遅れていた。

一方、近年になり国道50号B P等主要幹線道路の整備や産業構造の転換などにより、赤塚駅周辺を取り巻く環境が大きく変わってきた。

このような状況のなか、赤塚駅北口地区では道路、駅前広場等の公共施設の整備と、都市型住宅、医療、福祉、商業等を導入した複合ビルの建設をし、市西部地区の生活拠点にふさわしいひとにやさしいまちづくりを推進するため、第一種市街地再開発事業を施行したものである。



都市計画道路赤塚再開発2号線から北面を望む
(手前より、病院棟・駐車場棟・複合棟)

事業の概要

事業の名称：水戸・勝田都市計画赤塚駅北口地区第一種市街地再開発事業

施行者：水戸市

施行区域：水戸市赤塚一丁目

権利者：118名(土地所有者、借地権者等)

施行面積：約26,400㎡

敷地面積：約16,300㎡

公共施設：駅前広場、都市計画道路3路線

施設建築物：延床面積約44,400㎡ / 14階建

用途別床面積

都市型住宅 = 約13,000㎡ / 117戸

老人ホーム = 約 3,100㎡ / 47室

公益施設 = 約 4,400㎡ / 福祉施設等

商業施設 = 約 3,700㎡ / 20店舗

駐車場 = 約13,200㎡ / 521台

病院 = 約 7,000㎡ / 140床

権利変換方式：都市再開発法111条地上権非設定型

特徴

施設建築物は、複合棟、駐車場棟、病院棟の3棟で構成している。

複合棟は、階建でスーパーマーケットや路面店舗の商業施設、市の公益施設であるディサービスセンターやボランティア会館、民間の介護型老人ホーム、分譲マンションで構成した。

駐車場棟は、都市計画駐車場137台を含む521台の5階建自走式駐車場(市営)とし、1階の一部に店舗を配置した。

病院棟は、市内の既存病院が移転し専門施設を拡充している。



受賞賛助会員 鹿島建設(株)、株木建設(株)、(株)鴻池組、(株)銭高組、戸田建設(株)